

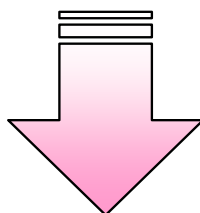
地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発

本格的な高齢化社会を迎え、高齢者・障害者等の円滑な移動手段としてバス・タクシーの重要性が高まっている中、低コストで、乗降及び立着席しやすいなど、高齢者・障害者等に優しい車両の開発・普及が喫緊の課題となっている。

このため、地域のニーズに応じ、低コストのバリアフリー車両の実現を図るべく、利用者、交通事業者、自動車メーカー等と連携し、車両の開発及び新たな標準仕様の策定を行う。

背景

- 地方部、都市部とも本格的な高齢化が進む中、高齢者等に優しいバス・タクシーの開発・普及は、バス・タクシーが公共交通機関としての使命を果たす上で必要不可欠。
- わが国の乗合バス・タクシー車両は、販売市場の規模が小さい(バス:約6万台、タクシー:約27万台)ため、市場原理に委ねるだけでは開発が進まない。
- バリアフリー車両の導入を進めるためには、高齢者等の利用者のニーズに応え、かつ、低コストの車両が求められている。



施策

国土交通省が中心となって、利用者、交通事業者、自動車メーカー等関係者が連携して、以下の施策に取り組むことが必要。

地域のニーズに応じたバリアフリー車両の開発

○地域・輸送形態に応じて、高齢者・障害者等のニーズを把握するとともに、車両開発に係る技術的課題やコストなども踏まえ、普及すべき高齢者・障害者等に優しい車両イメージを検討し、車両の試作・評価を通じて、標準仕様を策定する。

地方部

タクシー(一般・乗合)



小型バス



大型バス



都市部

地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発スケジュール

車両の種類	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度以降
共通 (1. ~5.)	利用者のニーズ調査 海外事例調査	普及に向けた課題整理 海外事例(規制等)調査 東京モーターショー出展	普及目標の検討	バリアフリー法に基づく見直しに反映 ・方針 ・基準 ・標準仕様
1. 大型バス	既存車両の実態調査 → 論点整理 車両イメージ案の検討	技術的課題等の整理 モックアップ試作 → モックアップ評価 標準仕様見直し(短期対応) フルフラット低床バスの要件整理 → 車両イメージ案の検討	バリアフリー基準見直し(中期対応) イメージ案の評価	
2. リムジンバス・高速バス	運行実態調査	バリアフリー対応の実態と課題整理	バリアフリー対応の標準化	
3. 小型バス	既存車両の実態調査 → 論点整理(大型バスに準拠)	バリアフリー対応の実態と課題整理	バリアフリー基準見直し(大型バスに準拠) バリアフリー対応の標準化	
4. 乗合タクシー(コムータークラス)	車両イメージ案の検討 → 改造車両の試作	試行運行による評価 標準化の検討	バリアフリー基準・標準仕様の検討	
5. ユニバーサルデザインタクシー	車両イメージ案の検討 車両イメージ案、モックアップ等に基づく論点整理	車両イメージ案、モックアップ等による評価 標準化の検討	バリアフリー基準見直し	